

第2回 TTC スペクトル管理 SWG 議事録

1.日時 2003年7月15日(火) 13:30～18:30

2.場所 TTC 事務局4階 D,E 会議室

3.出欠者 出席会員数/全会員数:58/84 (出席数には議長委任欠席37を含む)
出席委員数/全委員数:79/103 (出席数には議長委任欠席42を含む)
会議成立

4. 会合資料 寄書リスト参照 (SMS 02 03のみ非公開)

5. 議事要約(以下敬称略・社名等略称)

- ・本 SWG からの感謝状授与 前任リーダー(小畑)、サブリーダー(松本、成宮)、事務局(市川)
- ・本会合書記:NTT 東(林)

5-1) 議事次第、第一回議事録、課題表の確認:合意

[SMS-02-01] [SMS-02-02-1] [SMS-02-02-2] [SMS-02-03]

5-2) JJ-100.01 の改定

(1) 遅延寄書の取扱い:本会合の審議対象とする

(2) ダブルスペクトル方式に関する課題:合意

- a)G992.1Amendment 1 Annex I [SMS-02-01]
- b)スペクトル適合性確認結果報告書(ダブルスペクトル方式) [SMS-02-02-1] [SMS-02-02-2]

(3) (未確認方式)シングルスペクトル方式の課題:合意

- a)スペクトル適合性確認結果報告書(未確認方式)[SMS-02-02-1] [SMS-02-02-2]
- b) Annex A OL [SMS-02-05] [SMS-02-06] :[SMS-02-02-1]の表2の記述通りとする
 - ・事業者間合意事項の数量制限について、TTC での議論としない(事業者間協議事項)
 - ・事業者間協議を実施せずに、“ソフトバンク BB・長野県協同電算仕様”と同一方式を用いる場合は、特例扱いとせず、収容制限なし、距離制限3.25kmのクラス C とする。方式名“G.992.1 Annex A sOL”として、[SMS-02-02-1]表2に欄を増やして記述する。
 - ・JJ-100.01 第2版の中では、保護判定基準値は、いくつかの方式をグルーピングして定め、記述方法を工夫する
- c) Annex C DBM OL [SMS-02-07] [SMS-02-08]
 - ・G992.1 Annex C DBM OL(“アッカネットワークス社仕様”)は、[SMS-02-02-1]表2の注記欄を、“保護判定基準値の緩和及び事前対策等を踏まえ特例としてクラス A に分類。特例内容2.5kmを越えて提供しない”とする
 - ・G992.1 Annex C DBM OL(“アッカネットワークス仕様”以外)は収容制限なし、距離制限2.5kmのクラス C とする。[SMS-02-02-1]表2に欄を増やして記述する。“アッカネットワークス社仕様”の特例(クラス A)の適

用したい場合は事業者間協議を実施する

d) 2B1Q - ISDN [SMS-02-09] [SMS-02-10]

- ・計算結果は、クラス C、収容制限なし、線路長制限は4.5 kmとなる
- ・平成電電より、予定導入回線数が少ない(10万加入以下)との発言があり、特例としてクラスBとする。問題が発生した場合には見直しを行う

e) Annex A OL(ソフトバンク BB・長野県協同電算仕様)の技術資料[SMS-02-11]

f) G992.1 Annex C (FBMsOL)、G992.1 Amendment 1 Annex C の再計算結果[SMS-02-12] [SMS-02-13]
 ・[SMS-02-02-1]と同内容

(4)クワッドスペクトル方式の課題:合意

a) スペクトル適合性と方式仕様標準化は別なため、使用する事業者があり、提案があれば、非標準でもスペクトル適合性を検討する

b) クワッドスペクトルの計算結果[SMS-02-10] [SMS-02-14] [SMS-02-15] [SMS-02-16]

- ・ダブルスペクトルと同等の計算結果となるため、クラスB(収容制限なし、線路長制限なし)とする

c) 構内設置システムのスペクトル管理は、本会合では扱わない(TTCの扱う内容ではない)

(5)その他の方式の課題:次会合に向けた課題とする

a) 長延化 [SMS-02-18]:本SWGの課題とし、次会合にむけて寄書を募る

- ・同程度の距離での計算モデルを使用(異なる距離への干渉は考慮しない)
- ・5 km以遠向け方式のスペクトルリクワイアメントを検討し、方向性を議論する

b) 上り帯域の拡張 [SMS-02-19] :本SWGの課題とし、次会合にむけて寄書を募る

(6)JJ-100.01 の改版(第2版):合意

a) JJ-100.01 の改版(第2版)の目次案[SMS-02-20]:

- ・第1版の補遺は、第2版スペクトル管理標準から除外
- ・グルーピング(保護規定に適用)の概念を追加:与干渉規定[各PSD]と保護(被干渉)規定[グルーピング]を分けて記述

b) JJ-100.01 の改定案[SMS-02-05]:上記までの審議で消化済み

5-3) 編集チームの編成:合意

- ・リーダー、サブリーダー、ボランティア(岡戸[NEC]、白須[住友電工]、藤田[イー・アクセス]、山野[NTT]、[アッカ])

5-4) 今後の予定:合意

・本日合意された方式については、スペクトル適合性確認一覧への更新として7月16日(水)にTTCのHPにアップロード

・DSL専門委員会でのJJ-100.01(第2版)オーソライズは、8月7日(木)のスペクトルSWG会合後に実施(筒井DSL専門委員長同意)

・次回スペクトルSWG開催日および場所:8月7日(木)9:30~ TTC事務局4階D,E会議室

JJ-100.01第2版ドラフトおよび寄書締切りは、7月31日(木)24:00、JJ-100.01第2版ドラフトに対する寄書は8月6日(水)、修正提案があれば具体的テキストで提案する

以上